

公表

事業所における自己評価総括表 (放課後等デイサービス)

○事業所名	こぼん		
○保護者評価実施期間	2025年 6月 1日		2025年 6月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	38	(回答者数) 24
○従業者評価実施期間	2025年 6月 1日		2025年 6月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 15
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 6日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・自閉スペクトラム症や強度行動障害のある児童への支援経験が豊富であり、特性理解に基づいた支援体制の整備をしている。	・特性理解を深め、予防的な支援や環境調整を意識して取り組んでいる。 ・児童が安心して過ごせるよう、見通しを持てる支援や声掛けを心掛けている。	・児童一人ひとりの特性理解をさらに深めるとともに、職員間の情報共有や研修等を通じて理解を深め、より適切な支援につなげていく。
2	・行動面で配慮が必要な児童など受入が難しいケースについても、特性理解に基づいた支援を行い、安心して利用できる環境づくりに取り組んでいる。	・児童一人ひとりの特性や行動の背景を理解、分析し、環境調整や関わり方を工夫しながら安心して過ごせる支援を意識して取り組んでいる。	・児童一人ひとりの特性理解をさらに深めるとともに、職員間の情報共有や研修等を通じて理解を深め、より適切な支援につなげていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・職員体制や人員配置により支援の内容や活動の幅が十分に確保できない場合がある。	・児童の特性や支援ニーズが多様化していることから、より専門的な知識や支援方法の共有が必要となっている。	・児童の特性理解を深めるため、職員間での情報共有や事例検討を行い、支援方法の共有を図っていく。
2	・行動面で配慮が必要な児童の利用が多いため、より安全で安心した支援体制を整えていくことが課題である。	・職員体制や経験年数の違いにより、支援の質をより統一していくことが課題となっている。	・安全で安定した支援が行えるよう、職員間の連携を強化し、支援体制の充実を図っていく。
3	・児童の特性に応じた支援を行っているが、より専門性を高めるための研修や学びの機会をさらに充実させていく必要がある。	・行動面で配慮が必要な児童の利用も多く、より安定した支援体制や職員間の連携を強化していく必要がある。	・自閉スペクトラム症や行動面で配慮が必要な児童への支援について、研修等を通じて職員の専門性向上に取り組んでいく。